

未来計画研究社 令和5年度 Mirai プロジェクト エントリーシート

企業・団体・自治体名	NPO 法人トイロ (toiro commune designing)	業種	教育学習・シンクタンク
所在地	長野県小布施・山梨県北杜市・東京都など	主な活動地	八ヶ岳界隈
担当者名	音羽 真東 (おとわ まさと)	所属・役職	理事

提案プロジェクト

タイトル	興味のある社会課題をテーマに、実践的な問題発見・問題解決スキルの獲得を目指す <b>プロジェクトラーニングの実践&amp;ミライの学校づくり</b>
プロジェクトの概要	<p>学生・社会人と一緒に、<b>人のつながり・地域づくり・地球にやさしい消費・新しい学び</b>などの社会課題の中から、自身が興味のある社会課題を選び、実践的な<b>問題発見・問題解決スキル</b>の獲得を目指す<b>プロジェクトラーニングの実践（6か月～8か月）</b>を通じて、<b>ミライの学校づくり</b>を考えます。</p> <p>※過去の社会課題のプロジェクト例（一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①エシカル消費プロジェクト（地球にやさしい消費活動を広める）</li> <li>②森の回復と生態系プロジェクト（森林や生態系の破壊を止めたい、回復を考える）</li> <li>③地球に優しい電気・エネルギープロジェクト（環境にやさしいエネルギーを考える）</li> <li>④みんなのテラコヤプロジェクト（地域の子どもたちと大人の交流する機会を作る）</li> <li>⑤過疎地の交通プロジェクト（高齢化する過疎地域での交通手段の確保する）</li> <li>⑥子どもマルシェプロジェクト（地域の子どもたちがやりたいことをやれる場所づくり）</li> </ul> <p>&lt;プロジェクトラーニング枠（主体的に動きたい人   サポーター枠からの変更も可）&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自身が興味ある社会課題・取り組みについて調査する。（現状把握－目安 1 か月）</li> <li>2. 自身が興味ある社会課題のオンライン勉強会を実施する。（課題の構造分析－目安 1 か月）</li> <li>3. 自身が興味ある社会課題が、継続的に改善に向かい新しい社会課題を生まない仕組みを組み立てる。（解決の構造分析と仕組化－目安 1 か月）</li> <li>4. 当事者や連携するパートナーにヒアリングし仲間を集める。（体制構築－目安 1 か月）</li> <li>5. 自身が興味ある社会課題の交流会・イベントを実施する。（トライ&amp;課題抽出－目安 1 か月）</li> <li>6. 考察&amp;継続判断 一本の記事にまとめる。（レポート－目安 1 か月）</li> </ol> <p>&lt;プロジェクトサポーター枠&gt;</p> <p>社会課題には興味があるけど、興味あるテーマがわからない・まだ見つかってないという人には、サポーター枠を用意しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自身が興味ある社会課題・取り組みについて調査する。（現状把握－目安 1 か月）</li> </ol> <p>をきっかけに、2～6をプロジェクトラーニング枠のメンバーと一緒に意見交換したり資料をまとめたり一緒に活動します。</p> <p>また、サポーター枠で参加した後にやりたいことが見つかったときにはプロジェクトラーニング枠への変更もできます。</p>

<p>学生が行うこと (活動内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各プログラムの運営</li> <li>・ミーティング (週1回・オンライン)</li> <li>・成果物 (調査資料・提案資料・動画ブログ配信など)</li> <li>・フィールドワーク (リサーチ・イベント・ライブ配信など)</li> <li>・イベント・企画立案</li> </ul>			
<p>目標・成果</p>	<p>参加者自身の</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: イベントなどの企画立案・開催の体験</li> <li>2: 社会課題の身近さの体感</li> <li>3: 自分のやりたいこと・できることの発見</li> <li>4: 実践的な問題発見・解決力を獲得</li> </ol>			
<p>該当する カテゴリー (すべてに○)</p>	<p>【カテゴリー1】 マーケティング</p>	<p>【カテゴリー2】 プロトタイプ</p>	<p>【カテゴリー3】 プロモーション</p>	<p>【その他】 社会課題解決プロジェクト 立案・実施を通じた学習</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>実施期間</p>	<p>令和5年6月～令和6年1月末 (最短6か月)</p>			
<p>受入学生の希望 (留学生の受入)</p>	<p>活動を楽しめる人</p> <p>興味の幅が広い人</p> <p>学ぶことが好きな人</p> <p>問題発見・問題解決の実践的なスキルを身に付けたい人</p>			
<p>備考</p>	<p>(昨年参加した学生さんからの質問と回答)</p> <p>Q.参加した後の学生には、どうなって欲しいですか？</p> <p>まずは、自分で自分自身を充実させられる人になって欲しいですね。自分が充実できるようになったら、その余力で誰かをサポートできる人になって欲しいと考えています。その先には、次の世代の子どもたちが自分自身で充実できるようなサポートをできる人になって欲しい。学生さんに限らず、社会人も同じですね。</p> <p>豊かになった今の日本でも7人に1人の子どもが貧困というデータもあり、自分の力ではどうにもならないような弱い立場の人へ、自然と手がさしのべられるような仕組みや環境の土台づくりのきっかけの一つになれば嬉しいですね。</p> <p>また、キャリアや就職についても、いろんな人の多様な意見や考えに触れることでいろんな道が見えるきっかけになるとおもいます。社会人も大学生と話すことで新しい感性に触れられて学べる機会になるので色々若い感性で教えてもらえると嬉しいです。</p> <p>多様な背景があるビジネスパーソンと一緒に、答えや正解がない社会課題について一緒に考え解決方法を探りながら、トライアンドエラーで実践的に試していく楽しさや、やったことがない自信がない失敗も当たり前と一緒に経験しましょう。</p> <p>ぜひお気軽にご参加くださいね。</p>			